

交通安全対策

信号機設置 一日も早く

早急な対応 要望済み



みやち よこ 議員

けた協議、検討を行っている
と回答を得ている。

問 来年度実施のサポートカーの補助は、新車に買い替えるには負担が大きいため、現在乗っている車にペダル踏み間違え防止の自動ブレーキ装置への補助制度に出来ないか。

問 新国道は便利でもありますが、生活道路等と数箇所交差しており、横断者には大変危険だ。当初からルートが問題で反対して来たが、残念ながら犠牲者が出た。一日も早く信号機の設置を求む。

答 大西町長

大切な命が失われ、これまで以上に強い姿勢で申し入れをする。6月議会以降も、県警本部、中村警察署に7回要望をし、その結果信号機設置に向

答 青木 地域住民課長

国も既存車への後付けによる装置を補助の対象にしており、県もその方向にある。それらをふまえて、来年度から導入するよう進めている。



本庁舎で行われたサポートカー試乗会

住民生活

ゴミ出しに 公助の手を 引き続き 検討していく

ゴミ問題は先日参加した婦人会等でのご意見も踏まえ、もう少し自助、互助による環境整備に取り組みたい。

答 尾崎 住民課長

ゴミ問題は先日参加した婦人会等でのご意見も踏まえ、もう少し自助、互助による環境整備に取り組みたい。

問

ゴミ出しも自分で出来る事は自分でしたいが、障がいを持った方、高齢者、病气やケガ等で出るのが難しくなった方々に公助による補助を進める必要があるのではないか。大型ゴミ等はシルバー事業にお願いする等、公助での補助は出来ないか。

公助は自助、共助の進ちよく状況と合わせて、地域特性の意見を大事にしながら、引き続き支援方法を検討していく。
ゴミを集めながら安否確認をするとか、そんな体制作りと合わせたゴミ出しを考えていきたい。

風水害対策

町民全体のレベルアップを

講演会等検討していく

問 近年の風水害は、今年台風被害をみても想定外ばかりで、全国的に甚大な被害をもたらした。犠牲者ゼロを掲げる町の風水害への取り組みは、どこまで進んでいるか。

町民全体の知識を向上させることも必要と考えるが、それらは計画されているか。

答 徳廣 情報防災課長

風水害、土砂災害も喫緊の課題である。昨年度より片田、矢守両教授のご協力を得ながら、馬荷、橋川、御坊畑地区でワークショップを開き、自主避難計画を作成し、避難訓練も実施している。今後、計画書は常に検証、修正を繰り返し、見直しをしていく。



ワークショップの一コマ

本年度は佐賀地域、大地方地域の各2エリアでワークショップを計画し、その次は未実施地域へと拡大して取り組む。
全町民への講演等も考える時期に来ていることをふまえ、来年度のスケジュールを組みたい。